

■ 第4次印西市地域福祉計画達成状況（令和7年度）

		A評価 (全て実施)	B評価 (一部未実施)	C評価 (廃止)
基本目標1 市民による地域福祉の推進				
施策1	市民の福祉意識の向上と市民交流への支援	13	9	0
施策2	地域福祉推進のための人材の確保・育成	7	5	0
基本目標2 支援が必要な人への体制づくり				
施策1	地域福祉支援ネットワークの構築	9	1	0
施策2	相談体制・情報提供体制の充実	19	2	0
施策3	市民ニーズに応える福祉サービスの充実	11	2	0
基本目標3 安心安全が実感できる環境づくり				
施策1	地域ぐるみで防災・防犯体制の構築	13	6	0
施策2	誰もが暮らしやすい生活環境づくり	15	0	0
施策3	市民一人ひとりの人権が尊重・擁護され安心して暮らせる環境づくり	19	0	0
計		106	25	0

総評価件数は131件。構成比A評価 80.9%、B評価 19.1%、C評価 0%

全体の約8割が「Aすべて実施」となっており、計画に基づく取組がおおむね着実に進められた。

(令和6年度・7年度実績比較、課題)

基本目標1

取組内容	R6 実績	R7 実績
計画や民生委員等の認知度向上	【実績】概要版配布やHP掲載を実施。認知度は活動内容によって8.1%～26.1%であった。	【計画】アンケート結果を受け、認知度向上のための方策を検討する。 【実績】広報の5月号でピックアップ記事を掲載する等の啓発を行った。
認知症サポーターの養成	成人向け講座16回(326名)開催、小学校で認知症キッズサポーターを1131名養成した	成人向け講座10回(413名)開催、キッズサポーターを978名養成した
福祉体験学習	「Summer チャレンジボランティア」に延べ164名が参加	同プログラムへ昨年度より30名多い、延べ194名参加
各支部社協の交流事業	ふれあい給食(木下支部473食など)や、各支部でのサロン・交流会を実施。	ふれあい給食(木下支部422食、小林支部571食など)を継続。地域の実情に合わせた交流会を開催した。
いんざい健康ちよきん運動	サポーター養成講座1回(24名)開催。新規グループ立ち上げ支援を実施。	新規2グループが立ち上がり、参加者数は前年比約80名増の1,530名となった。

(継続する課題)

- ・民生委員・児童委員の確保
- ・認知症サポーター育成講座や夏休みボランティアなどに参加した人の活用
- ・若年層への啓発
- ・福祉活動に関する情報発信・認知度向上に関する課題
- ・支えあいの基盤となる場の維持と住民の変化に合わせた発展

(令和6年度・7年度実績比較、課題)

基本目標2

取組内容	R6 実績	R7 実績
相談窓口の設置・運営	千葉ニュータウン中央駅圏複合施設への設置準備、開設に向けた話し合いや備品準備。	コスモスパレットⅡ内に2か所目の福祉の総合相談窓口を開設。R7 相談件数は178件。
分野横断的支援 (重層的支援)	情報収集や試行的実施、市職員・支援機関向け研修を開催	支援機関向け研修をワークショップ形式で実施し、より実践的な内容へ深めた
高齢者等地域見守りネットワーク	市ホームページへの協定事業者の掲載による周知	協定事業者が集まる連絡会を実施し、実例や懸念等の情報交換を図った
学童クラブ整備	木刈、いには野、高花、原山の施設整備および民間への補助を実施。	普通教室等の活用(原・高花・牧の原)により170名の定員増、民間増床補助により10名の定員増を実現。
子育て支援	こども家庭センターを設置し、母子保健と児童福祉の一体的な相談体制を整備。	子ども家庭センターとして、妊娠期から包括的な相談支援、情報提供の充実を図った
次期計画の策定準備	(特記なし)	高齢者福祉計画および障がい者プラン策定に向けた「ニーズ調査」を実施した。

(継続する課題)

・支援関係機関と連携した重層的・包括的支援体制の整備

(令和6年度・7年度実績比較、課題)

基本目標3

取組内容	R6 実績	R7 実績
防災情報の提供・意識啓発	防災メール登録者数 19,000 人を目標とし、実績は 25,296 人に達した。。防災メール等利用者 25,296 人	目標を 23,000 人に引き上げ。LINE(14,514 人)や X、防災メールなど多角的な媒体で情報提供を継続した
公共交通ネットワーク再構築	ふれあいバス再編の検討や実証運行の継続、バス停ベンチ設置の協議を行った	ふれあいバスの再編を実施。バス停ベンチを新たに 4 基設置。タクシー利用助成の実証実験対象地域を拡大した
移動支援	高齢者ふれあいバス利用は延べ 111,935 回	路線拡大により高齢者バス利用が延べ 139,646 回に大幅増加
成年後見制度の利用促進	成年後見支援センターの運営委託により中核機関の機能を整備。市長申立てを 2 件実施	専門職向け講座(20 名参加)や相談対応を継続。市長申立ては高齢者福祉課で 2 件、障がい福祉課で 1 件実施した
自殺対策	ゲートキーパー研修の実施や啓発資料配布を実施。第 2 次自殺対策計画検討	第2次自殺対策計画策定

(継続する課題)

- ・避難行動要支援者の個別計画作成率の向上
- ・バスやタクシー利用助成など持続可能な移動手段の確保
- ・高齢者を中心とした買物弱者支援
- ・災害を想定した福祉避難所の機能充実、支援関係者が連携した防災訓練